

応募者情報

応募ID（数字4桁）		会社名	
1122		マツダ株式会社 <small>カブシキガイシャ</small>	
事業場名		所在地（都道府県）	
本社工場 <small>ホンシヤコウジョウ</small>		広島県	
所属		役職	
		社員 <small>シャイン</small>	
姓	名	フリガナ（姓）	フリガナ（名）
濱崎	貴耶	ハマサキ	タカヤ
タイトル（40字未満推奨）			23文字

誰でも活躍できるダイバーシティー職場を目指して

活動サークル名（任意/40字未満推奨）	11文字
もりもりやろーサークル	

この取組みの背景・課題・困りごと

284文字

※箇所書き・写真での記載も可

職場の編成人員は15名で、その中には聴覚に制約のあるメンバーも、メンバーと協力して設備の維持管理・改善活動を行っています。

あるとき、設備の治具の点検を聴覚に制約のあるメンバーと行っていた際に、彼が点検基準書の項目を指さして伝えてきました。その点検基準書の項目は「エア－漏れ無き事」でした。点検方法が聴覚情報に依存していた項目となっており、聴覚に制約のあるメンバーには、エア－漏れ点検をすることが困難な状況が放置されたままでした。「誰でもが活躍できるダイバーシティー職場」を職場の目標に掲げ、その実現に向けてエア－漏れ点検の容易化改善に取り組みました。



改善への取組み内容（箇所書き・文書で記載）

205文字

※箇所書き・写真での記載も可

誰でもエア－漏れを点検できる「はたき棒ツール」を製作しました。先端部は色々な素材をトライ＆エラーを繰り返して選定しました。このはたき棒を使う事で、これまで目視では確認できなかったエア－漏れを可視化することができるようになりました。エア－漏れを可視化できる機械の購入について提案がありましたが、100万円以上/1台するというので、メンバーで知恵を絞ってエア－漏れを簡易的に可視化できるツールを考案しました。



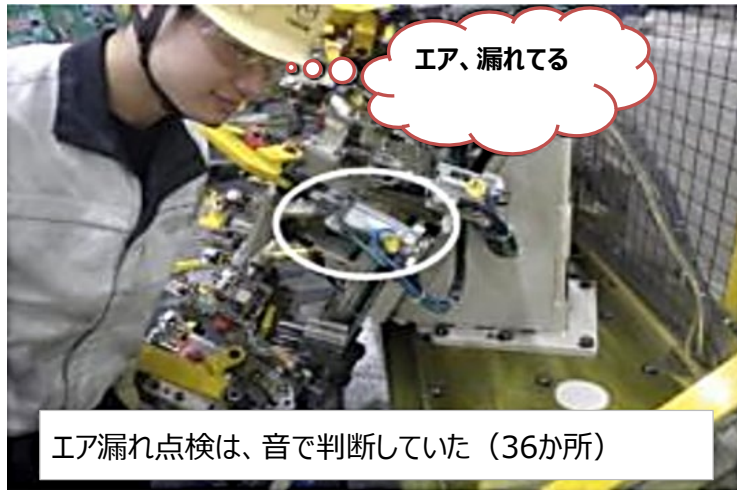
エア－漏れを可視化できる機械はあるが約100万円もする！



はたき棒ツールを製作。製作費50円

改善前、改善後の状態（写真やイメージ）

BEFORE（改善前）



エア漏れ点検は、音で判断していた（36か所）

これまでの点検は「音」による確認に依存しており、聴覚による確認が難しい場合は実施しにくい工程だった。

AFTER（改善後）



点検部にツールを当てる。エアが漏れていたら、線状のビニール紐が揺れ動き目視で判断できる！

改善による効果

176文字

- ・作業が楽になった、便利になったなど
 - ・故障やチョコ停の削減、品質・安全性の向上、時間・工数・コストの削減
 - ・業務の標準化・平準化・信頼性向上、改善の水平展開など
- ※箇所書き・図表・写真での記載も可

エア漏れの点検時間

改善前：約3分/1工程 ⇒ 改善後：1.5分/1工程に短縮できた。

また、エア漏れのレベルAも確認できるようになった。今回の改善を受けて、点検基準書の見直しと点検方法の変更など標準類の改定を実施しました。

点検方法を見直したことで、メンバーの特性に左右されず、誰でも同一基準でエア漏れ点検を実施できるようになりました。

エア漏れのレベル

	エア漏れの音	1時間当たり	月間損失金額	月間CO2 排出量
A	ホワー	¥0.7	¥504	12Kg
B	スー	¥1.4	¥1,008	23Kg
C	シュー	¥8.3	¥5,976	140Kg
D	ビシュー	¥13.9	¥10,008	233Kg
E	シー	¥20.8	¥14,976	349Kg
F	ゴー	¥138.9	¥100,008	2330Kg

活動を支えたツール・広めた工夫

322文字

- ※例として、教材、チェックリスト、清掃道具、治具、ワンポイントレッスンシート、活動板など
- ※ツールの写真・イラストをもとにご紹介ください

今回の改善のきっかけとなった聴覚に制約のあるメンバーも協力し、私たちと自主保全の点検ができるためのアイデアについて自主保全メンバーと共に出してくれた事です。自主保全活動における気付きにより、維持管理のやり易さを試行錯誤で改善した良い事例となりました。

また、今回はエアの漏れも音に注目して職場の損失を見える形にしたことにより、私自身がコスト意識を持つことができたと思います。

このエア漏れのレベルについて、ワンポイントレッスンを作成し、他のサークルにも展開することで、エア漏れに関する意識が変わったと思います。

現在は、点検基準書の見直しと、エア漏れの点検方法の変更を実施し、これまでより半分の時間で点検を行えるようになりました。

仲間の声（成果や達成感、苦労話、チームワークや職場の雰囲気の変化など）

373文字

- ※取組みの成果や達成感、取組みの過程の苦労話など一緒に働くメンバーの声を記載
- ※改善の成果だけに限らず、現場のチームワークや活性度、動きやすい環境づくりへのつながりを記載
- ※箇所書き・写真での記載も可

- ・自主保全のメンバーが中心となり、活発な意見が出て職場の活性化につながった。
- ・当初は役割分担の案も出たが、「誰でも同じ基準でできる点検」にする方針で議論が深まり、「こうやったらどうか？」と改善提案が活発になって職場の一体感につながった。
- ・試行錯誤することでメンバーが前向きな意見を出してくれるようになり、今回はたき棒のアイデアが生まれたことが嬉しかった。
- ・職長から「サークルメンバー全員で誰がやっても安全で、簡単ラクラク作業を目指し活動してくれている。今後も性別年齢等関係なく活躍できるように、色んなアイデアを出してくれることで、人の成長や職場の成長につながる活動を続けたい。協力して欲しい。」と激励されたことが嬉しかった。
- ・今回、自分たちがテーマとして挙げた「誰でも活躍できるダイバーシティ職場」へ、一歩でも進めることができたと思う。